

メディアから見た災害情報とシステム

中京テレビ放送・報道部
武居信介

2008. 7. 11

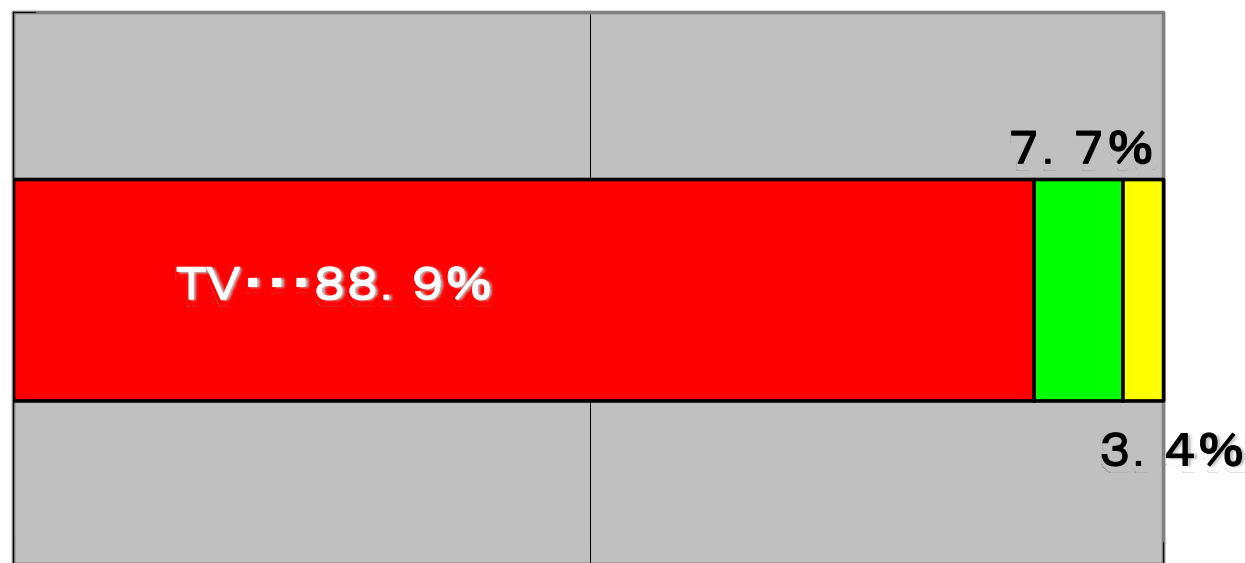
©CTV

東海豪雨の教訓

- 民放にとっては放送時間帯の課題
18時以降に被害は広がった・・・
ゴールデンアワーの悲劇
- 行政との連携・・・避難勧告が伝わらない！
- 放送以外のツールがなかった・・・
⇒HPの整備、L字放送体制の整備など
そして・・・

「能登半島沖地震」後の アンケートでは・・・

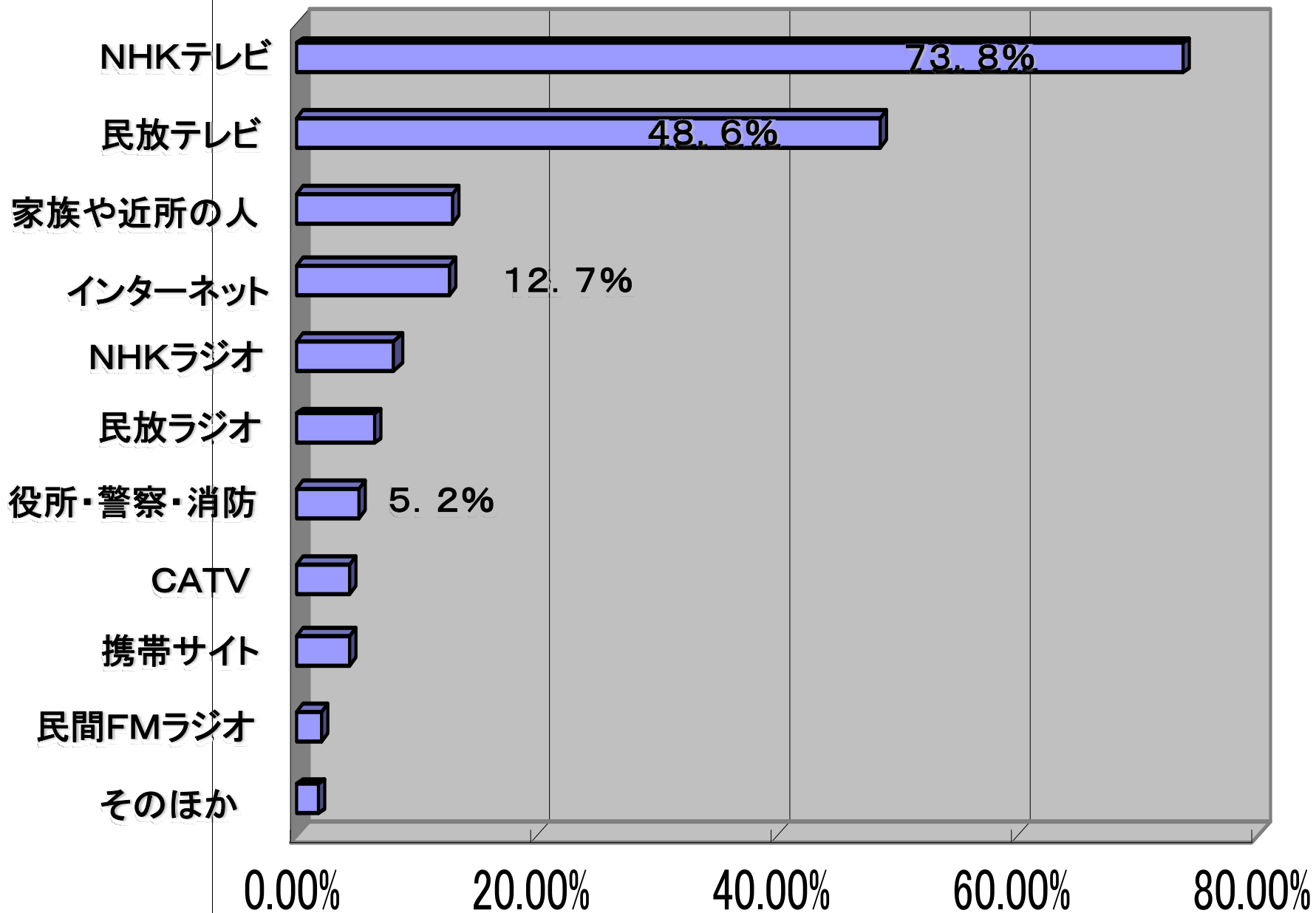
地震の直後、地震に関する情報源は主にテレビでしたか、
それともラジオでしたか？



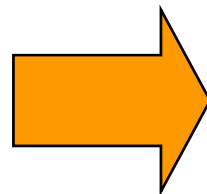
- TV
- ラジオ
- 入手しなかった

0% 50% 100%

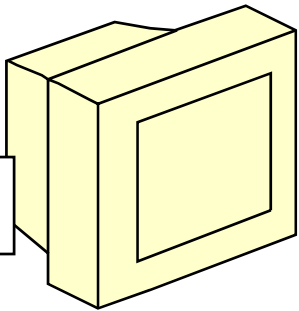
資料: サーベイリサーチセンター



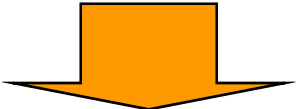
地上波デジタルが災害報道を変える



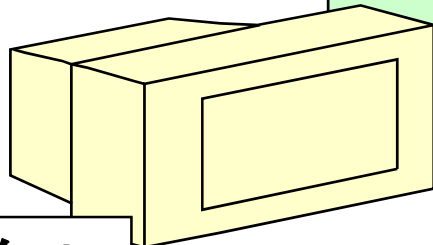
従来



アナログ放送



デジタル



ハイビジョン

データ

1セグ

または

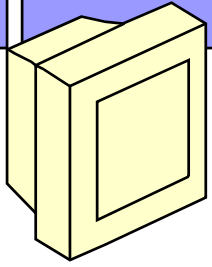
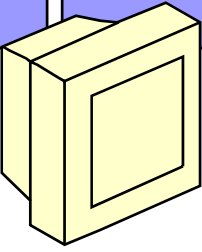
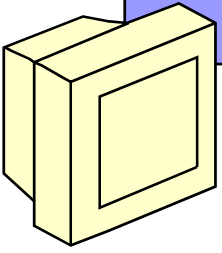
普通1

普通2

普通3

データ

1セグ



1セグ放送

- 逃げながらも放送を見られる(どこでも視聴可能)
- データ放送もある

おまけ..

- 携帯鉄塔の位置情報も
加味することも可能
- EWSと組み合わせれば
最強



自分の地域の情報をもっと伝えて

56.9%

余震に関する情報をもっと伝えて

51.5%

具体的な行動や対応を教えて

39.4%

電話・携帯の情報がほしい

34.7%

地震直後に電話取材するな！

29.4%

地震発生時の映像が多すぎる！

20.3%

津波の有無に関する情報をもっと早く伝えて

18.9%

アナウンサーは冷静に...

7.4%

0.00% 10.00% 20.00% 30.00% 40.00% 50.00% 60.00%

TVの緊急放送とは・・・

☆「速報スーパー」

・・・いわゆるニュース速報

☆「L字放送」

・・・長時間のニュース速報

☆「カットイン」 or 「こじ開け」

・・・臨時ニュース

☆「特別番組」

・・・ここまできたら、大騒ぎ！！

L字放送

継続的に放送できる

ニュース速報

☆番組を
中断しなくてよい

☆詳細情報の
繰り返しが可能



中越地震などでは、L字放送で生活情報を詳細に報道してきた・・・（ネット番組放送中も可能）

東海豪雨の教訓！

避難勧告はどうやって伝える？

- 新潟・福井の豪雨では
勧告が伝わらず問題に！
- 内閣府でも検討・・・
- 広報車やスピーカーではよく聞こえない・・・

避難勧告等の判断・伝達マニュアル 作成ガイドライン （内閣府）

1) 避難勧告等の伝達内容

伝達内容については、以下の項目や地域特性に応じたその他の項目から、住民が短時間に認識できる情報量を考慮して定め、伝達例文やひな形を整理しておくこと。

<避難勧告の伝達文(住民あて)の例>

こちらは、〇〇市(町村)です。ただ今、〇時〇分に〇〇地区に対して避難勧告を出しました。直ちに〇〇公民館へ避難してください。

なお、浸水により、〇〇道は通行できません。(そのほか、「昨夜からの大雨により、〇〇時間後には〇〇川の水位が危険水位に達するおそれがあります」、「できるだけ近所の方にも声をかけて避難してください」等)

避難勧告等の伝達手段・伝達先

伝達手段については、避難勧告等の種類ごとに、以下の手段や地域特性に応じたその他の手段を含めた複数の手段を組み合わせ、伝達先と合わせて具体的に定めておくこと。

- ・防災行政無線(同報系)を利用して対象地域の住民全般に伝達(避難勧告と避難指示についてはサイレンの吹鳴を併用)
- ・市町村広報車や消防車両により、対象地域の住民全般に伝達
- ・消防団、警察に対して対象地域の住民への伝達を依頼(あらかじめ、消防団、警察による伝達方法を確認しておく必要あり。)
- ・あらかじめ構築しておいた自主防災組織の会長等の協力を得ての組織的な伝達体制に基づき、市町村からの連絡先(自主防災組織の会長等)への防災行政無線(同報系・個別受信機)、電話、FAX、携帯電話メール等による伝達
- ・災害時要援護者等の事前登録者や緊急連絡先、避難支援者、社会福祉協議会、民生委員、介護保険制度関係者、障害者団体等の福祉関係者への伝達(FAXや携帯電話メールの活用も含む)
- ・自主防災組織や近隣組織等において率先して避難行動を促すようなリーダーによる伝達や、地域コミュニティ間での直接的な声かけ
- ・ホームページ等に掲載して、インターネットによる対象地域の住民も含めた不特定多数への伝達
- ・テレビ、ラジオ等の放送機関への依頼(都道府県による検討会を通じ、連絡方法、内容等についてあらかじめ申し合わせておくとともに、関係機関の防災連絡責任者を定めたリストを作成し、共有しておくこと。)

私たちがやるべきことは・・・

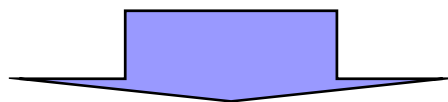
- いち早く！ 正確に！ わかりやすく！

住民の命を守るための情報伝達なのだ！！

- 愛知県・三重県などと作ってきた
災害情報のデータ受信システム

オンラインでの情報収集が主流に

☆ファックスや電話では限界がある



△専用線 ・・気象庁など

△インターネットサイト

・・行政・ライフライン・市民

三重県庁もWWW経由

△メール

・・文字情報は早い処理が可能



緊急・災害

天気・観測

地震・津波

交通・道路・生活

もしものときに

現在出ている注意報・警報

- 北部 乾燥
- 中部 乾燥
- 伊賀 乾燥
- 伊勢志摩 乾燥
- 紀勢・東 乾燥
- 紀州 乾燥

>> 詳細情報

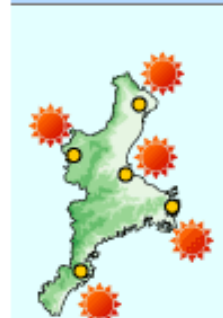
天気情報

天気図 | 気象衛星画像 | レーダー雨量

地域の天気

三重県全域の天気 [11:00]更新

3時間後の天気



3時間後の降水量

- 津市 0mm
- 四日市 0mm
- 伊勢市 0mm
- 上野市 0mm

緊急ニュース

1月24日11:26更新

現在、情報はありません。

その他の緊急ニュース

防災ニュース

2004年1月23日10時23分
【地震対策チーム】「地震に関するセミナー」を2月6日に開催します。1月30日まで申し込み受付中！

2004年1月20日9時20分
【防災チーム】iモード災害用伝言板がお試しいただけます。

2004年1月14日9時14分
【防災チーム】「防災とボランティア週間」における防災事業及びボランティアとの協働事業について

詳細な防災ニュース

メール配信

Kids きっずページ

三重県 Home Page

Mie Click Maps @インターネット

避難場所検索

広域災害・救急医療情報システム

e-デモ会議室 みんなで！防災会議

テキスト版

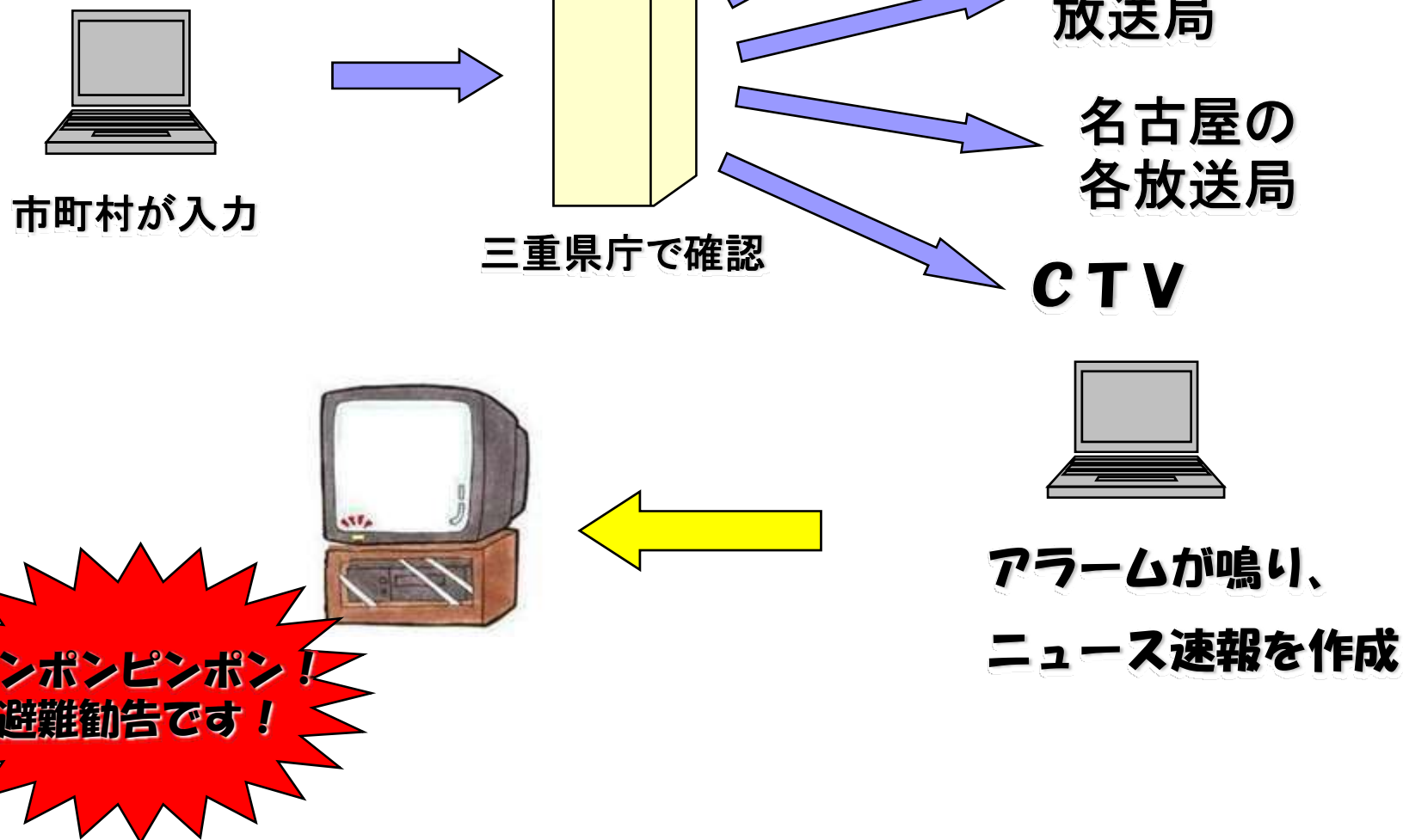
交通情報

道路規制情報

ライフライン

鉄道運行状況情報 1月24日11:26更新

情報の流れ



システムでの情報伝達で・・・

■ 速報性

市町村の発表とほぼ同じタイミングでの
情報伝達が可能に！

文字を打ち直す時間が短縮される！

■ 正確性

地区名など間違えやすい表記も確実に

■ マルチユース

さまざまなメディアに瞬時に対応が可能

愛知県との協議（第一段階）

- 民放テレビ各社が
 - 独自に愛知県と地道な交渉を行う。
- 内部情報として、愛知県は当初公開を拒む
(特に、市町村に取材が殺到することに警戒していた)
- 愛知県とのクレジットを使わずに、未確認情報として処理することで合意
- 愛知県は市町村の了解取り付け
- システムが各社でも見られるようになる

愛知県との協議（第2段階）

- 避難勧告など重要情報は「公表」とする
⇒市町村も了承した
 - * 新潟・福井のケースや、
内閣府などの動きが影響した
- オンラインでの情報処理を可能にした

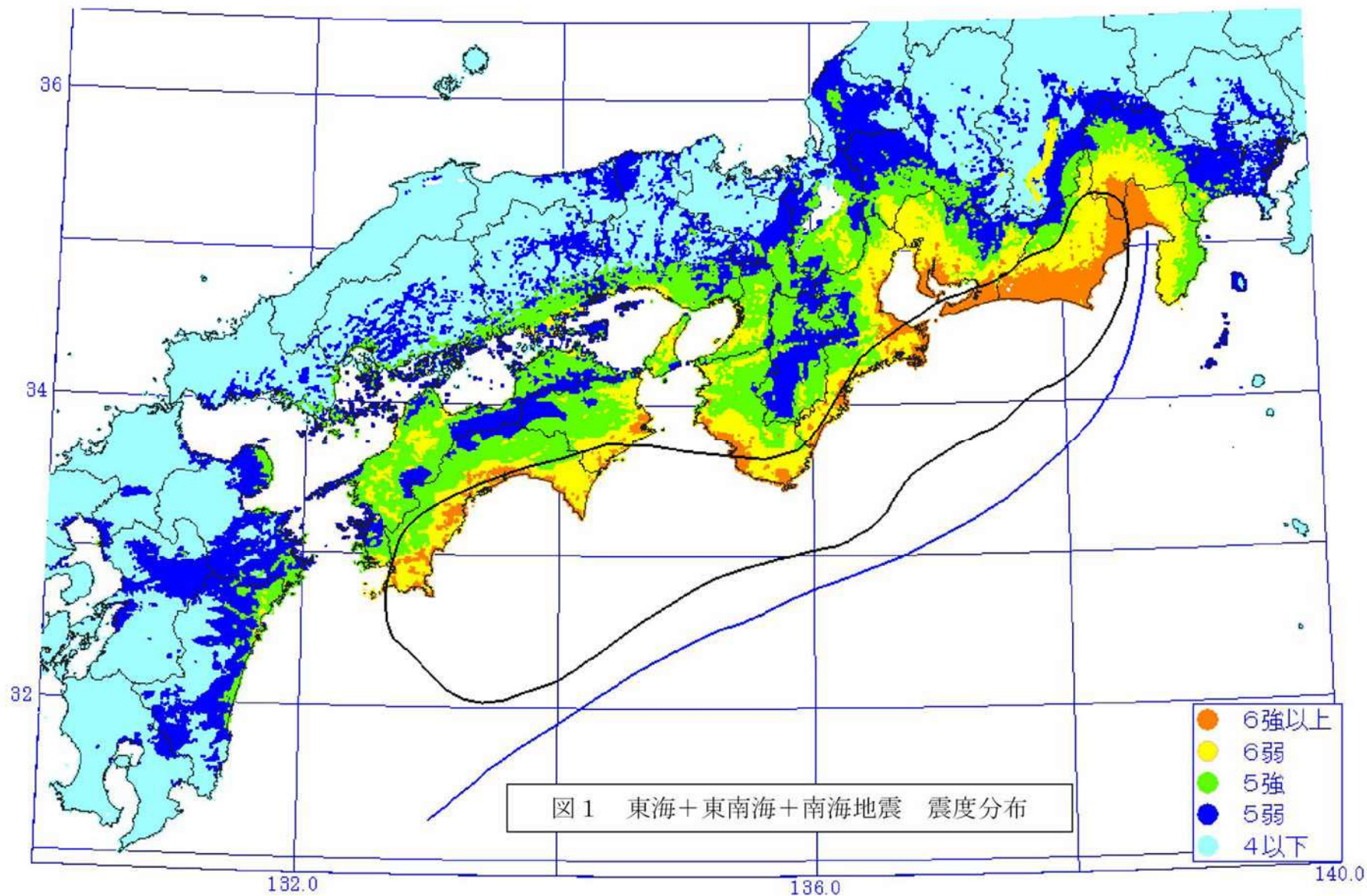
情報公開に積極的な三重県

- 北川知事の方針で情報公開が進んでいた
- 「災害情報」は多少間違っているとしても早く伝えることがむしろ住民のためになると判断
- 市町村が入力すると、内容に異常なデータがなければすぐにHPに公開していた
- 「防災みえ」の報道機関専用サーバーを設置

システムを可能にしたXMLなど

- 情報伝達の方式が、統一されることが望ましいが・・・
- 三重県はXMLで先見性が・・・
- 岐阜県と愛知県はTVCMLを採用
- 国も統一しようとするが、異なった方式も・・・
- 全国統一だとソフトは対応しやすい！

巨大地震ではどうなる？



テレビの災害報道とは・・・

責務①

地元住民の命を守る情報を伝える

⇒ローカル放送

責務②

エリア外の人に災害発生情報を伝える

⇒全国放送（ネットワーク）

バランスを取るの難しい

どれだけきめ細かな情報を 伝えられるか？

☆CTVのエリア人口は 1, 200万人

⇒災害の影響人員は10万人でやっと1%

影響人員が少ないと放送時間は短くなる！

⇔小さい局ほどきめ細かく出来る

☆経済活動は名古屋中心！

名古屋での災害は大きく扱わざるを得ない

(遠隔地の警報スーパーに苦情の電話も..)

大規模災害では マスコミの取材体制にも課題が！

☆ 人員にも限りがある

- ・・東京キー局で報道局員は200人程度

- ・・名古屋の基幹(準キー)局でも取材要員は50人程度

☆ 応援は来るけれど・・

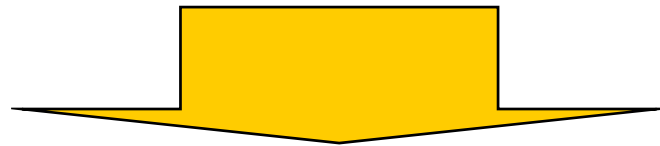
- ・・NNNは全国系列30社

- ・・応援は基本的に全国向け

▲ 系列がないと厳しい独立U局

「東海・東南海地震」に向けて・・・

- 系列をあげて準備が必要！
- ヘリコプターしかない！
- 通信手段をいかに確保するか？
- 自らの命をいかに守るか・・・
- 膨大な情報量をいかに収集・処理するか・・・



巨大災害では 必要な情報の**質と量**が違う！

- ☆ライフライン情報・・・
- ☆安否情報など・・・
- ☆避難勧告情報・・・
- ☆交通情報など・・・

情報量の増加は・・・

- △処理に時間がかかる
- △受け手も探すのに困る



そこで、システムを使おう！

- ずばぬけた速報性

すぐに放送にニュース速報が可能に！

- 大量の情報を処理が可能に！

避難場所や救護所情報など・・・

- 文字を間違えずにすむ・・・正確性

情報発信なくして救援はない！

- 足りないのは取材要員だけではない！

自衛隊は・・・

警察は・・・

消防は・・・

医療班は・・・

コンビニは・・・（現地に本部を設置）

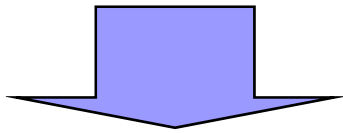
ガソリンスタンドは・・・（1日10ℓ制限も）

☆マスコミ情報で民間の救援体制は変わる！

情報は発信できるのか？

……取材はできるのか？

- 少ないスタッフで広域をカバーできない！
- 途絶したエリアでは取材は無理！



- 東南海地震で取材は限定的にしかできない



どんな情報が必要なのか・・・

☆ 公的機関からの情報

警察・消防・自治体の発信・収集する情報・・・
避難勧告・被災状況、気象情報など
交通規制情報など

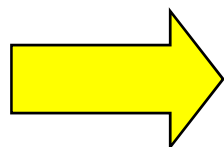
ライフライン情報・・・

☆ 市民による情報

被災情報、安否情報、救援依頼など

☆ 生活情報

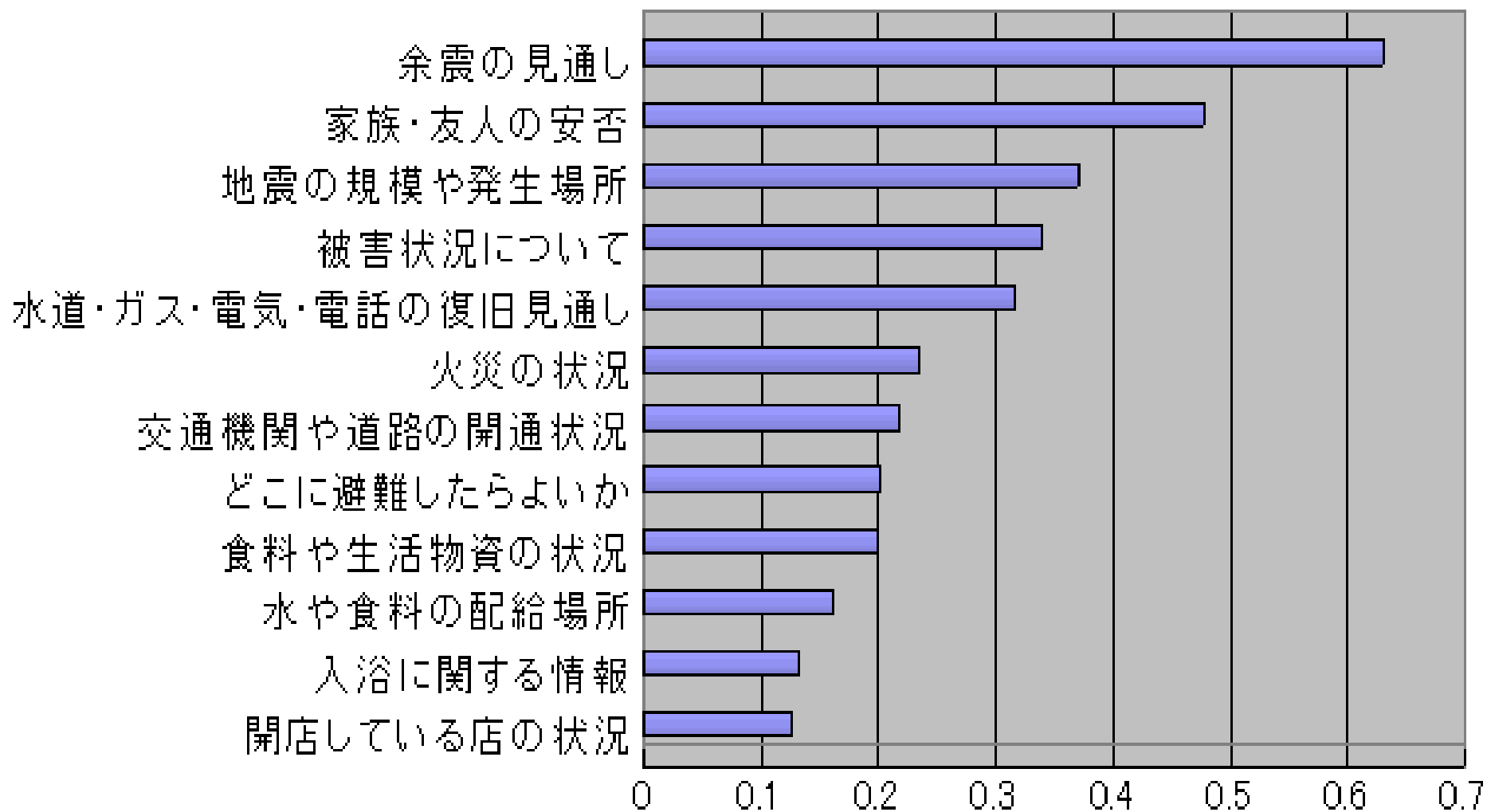
店舗の开店状況、医療機関などの情報・・・



緊急時にはいろいろな情報を発信しないといけない！

地震当日に知りたかった情報

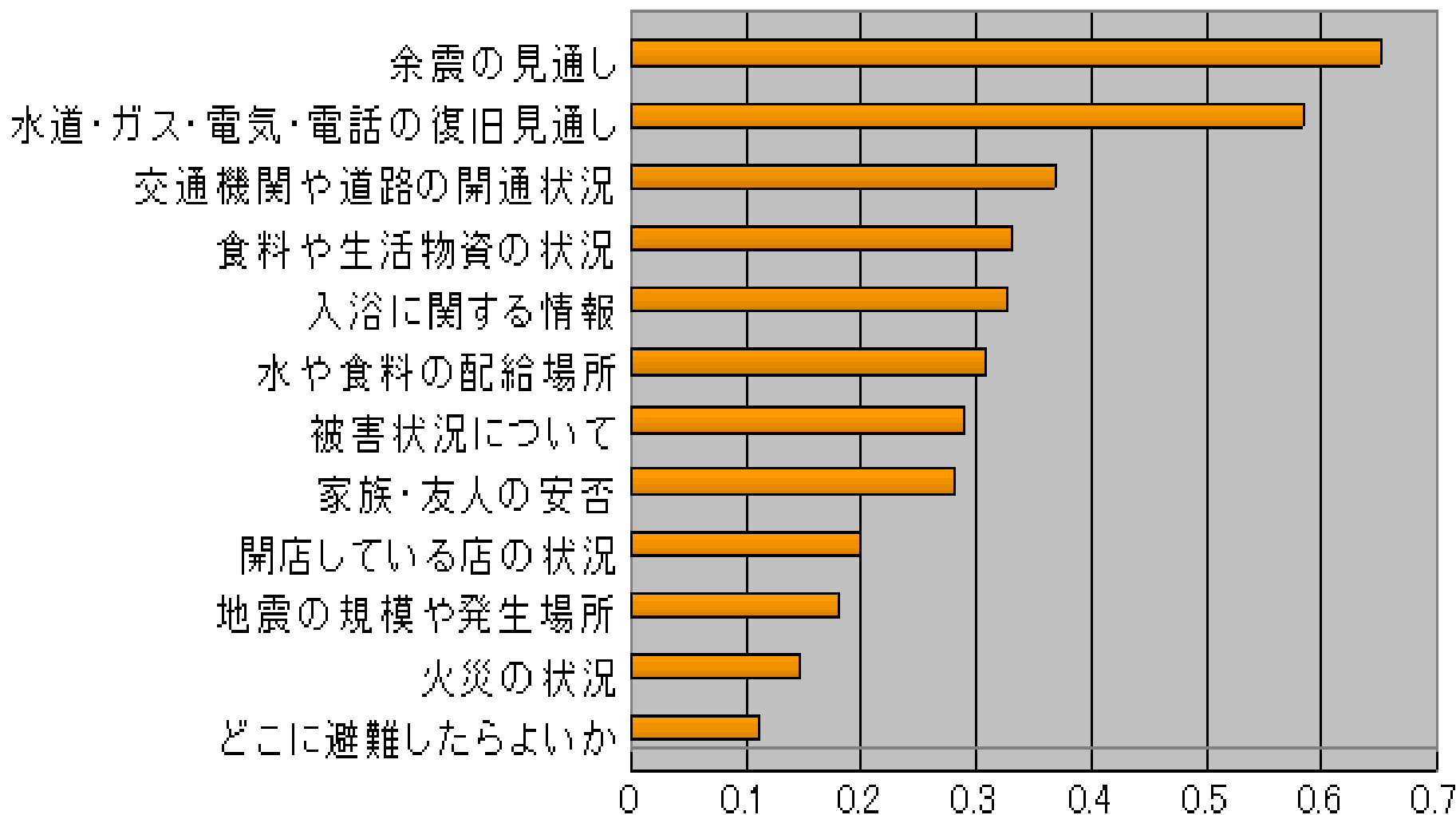
神戸市 N=699 (東京大学社会情報研究所、1995)



時間経過で変化するニーズ(7日後)

神戸市 N=699

(東京大学社会情報研究所、1995)



時間経過で変化する情報ニーズ

地震当日に知りたかった状況(神戸市 N=699)

余震の見通し	63.1%
家族・友人の安否	47.8%
地震の規模や発生場所	37.1%
被害状況について	34.0%
水道・ガス・電気・電話の復旧見通し	31.6%
火災の状況	23.6%
交通機関や道路の開通状況	21.7%
どこに避難したらよいか	20.2%
食料や生活物資の状況	19.9%
水や食料の配給場所	16.2%
入浴に関する情報	13.3%
開店している店の状況	12.7%
ケガ人の救急について	9.7%
道路の渋滞状況	6.6%
特になし	5.6%
そのほか	2.4%

地震1週間後に知りたかった状況(神戸市 N=699)

余震の見通し	65.2%
水道・ガス・電気・電話の復旧見通し	58.5%
交通機関や道路の開通状況	36.9%
食料や生活物資の状況	33.2%
入浴に関する情報	32.9%
水や食料の配給場所	30.8%
被害状況について	29.0%
家族・友人の安否	28.2%
開店している店の状況	19.9%
地震の規模や発生場所	17.9%
火災の状況	14.6%
どこに避難したらよいか	11.2%
道路の渋滞状況	10.3%
ケガ人の救急について	8.9%
特になし	4.0%
そのほか	2.0%

(東京大学社会情報研究所、1995)

現状の災害情報は国に報告が前提

- データ中心で、住民向けではない
- 住民が必要とするのは・・・
 - 災害の発生予告
 - 被災状況
 - 生活情報
- 住民に向けた情報発信の内容に変更が必要

報道機関へのニュースリリースは
住民に向けた情報発信に！

<住民にわかりやすい表現を！！>

地区名の羅列よりも・・・

「◎×川左岸一帯に避難勧告」

誰のためのシステム化か？

〈なぜ河川情報を…〉

△行政は河川情報は刻々出せるけれど…

△誰が水位だけで判断できるのか？

△「緊急情報」をわかりやすく一言で伝えるべき！

〈お年寄りを探せるのか？〉

△デジタル化で文字情報は多くなったが…

△自分のエリアとの照合はどうやってやるのか？

△切迫性をいかに伝えるのか？

だから、ニュース速報（TVでの読み替え）が重要

行政の方に・・・報道機関への対応①

取材の窓口を作る！！

取材対応の一本化が混乱を防ぐ

* 警察の発表形式を学ぼう！

☆ 本部のナンバー2を広報窓口責任者に！

全員が対応しない（広報班で対応）

ルールを明確にする・・・

行政の方に・・・報道機関への対応②

☆取材陣が殺到したら・・・

記者クラブでの対応を求める

* ない場合は仮クラブの結成を求める

☆定例会見を設ける・・・

情報はオープンを基本に！

* 規制を目的にはしない！

* 紳士協定が機能する環境を目指す